
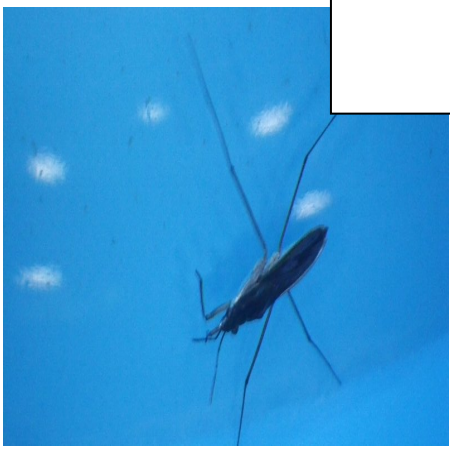








# 「いきものビンゴ〜<sup>なつ</sup>夏〜」

み 見つけたいきものに○をして、<sup>まる</sup>縦・<sup>たて</sup>横・<sup>よこ</sup>斜め<sup>なな</sup>のいずれか 1列をそろえてみよう！<sup>れつ</sup>

 <p>① メダカ</p>	 <p>② アメンボ</p>	 <p>③ ウスバキトンボのヤゴ</p>
 <p>④ハグロトンボのヤゴ</p>	<p>夏</p>	 <p>④ ゲンゴロウの仲間</p>
 <p>⑤ モノアラガイ</p>	 <p>⑥ コオニヤンマのヤゴ</p>	 <p>⑦ ヌマエビ</p>

# ～いきものの解説～

## ① メダカ

すんでいるところ：池、田んぼ、小川、水路

大きさ：約40mm

とくちょう：両目の間から背中を中心にそって、黒っぽい線が通る。

## ② アメンボ

すんでいるところ：湖、沼、池、流れがゆるやかなところ

大きさ：10～16mm

とくちょう：体が棒のようになっていて、針金のような足がある。落下した虫の体液を吸う。

## ③ ウスバキトンボのヤゴ

すんでいるところ：池、沼、田んぼ、学校のプールなど

大きさ：22～25mm

とくちょう：淡い黄褐色で、濃い色の模様がある。

## ④ ハグロトンボのヤゴ

すんでいるところ：水草があり、流れがゆるやかなところ

大きさ：20～26mm

とくちょう：腹部の先に、尾エラが3枚ある。

## ⑤ ゲンゴロウの仲間

ゲンゴロウの仲間(ゲンゴロウ科)は、小形～中形の甲虫で、ほかの虫やさかなをつかまえて食べる。日本には、90種類のゲンゴロウがいます。

## ⑥ モノアラガイ

すんでいるところ：田んぼ、沼

大きさ：約25mm

とくちょう：たいへんうすくて半透明な巻貝。口が大きく開く。

## ⑦ コオニヤンマのヤゴ

すんでいるところ：落ち葉、砂、どろの多いところ

大きさ：30～35mm

とくちょう：体は赤みのある褐色から黒っぽい褐色で、平たい。

## ⑧ヌマエビ

すんでいるところ：水草の多いところ

大きさ：20～30mm

とくちょう：背中の真ん中に白っぽい太い線があります。

### <引用文献>

堀木政子著 名まえしらべ 水への動物 平成17年6月 保育社  
河合典彦・小川力也著 名まえしらべ 水への動物 平成16年10月 保育社  
今森光彦著 水辺の昆虫 2000年3月 株式会社 山と溪谷社  
石田昇三ほか著 日本産トンボ幼虫・成虫検索図説 1988年6月 東海大学